

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス Sunny side up				公表日	R.8年 2月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・10人定員で100㎡確保しているので、適切と思われる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・9名のスタッフが、交代で毎日6名以上出勤している。 ・行事では全員で対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・遊びや活動内容によって部屋を分けている。 ・車いすでも利用可能のようにバリアフリー化している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・子どもが使用した玩具などは全て消毒して、毎日清掃、整理整頓を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・体調不良や気持ちが落ち着かない時は、静養室で過ごしてもらうなど、個別になれる環境を作れるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・毎日の申し送りや月1回の職員会議で話し合い、実行して改善を繰り返し行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎年保護者様に記入して頂いて、職員会議等で話し合い、改善に取り組んでいる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・月1回の職員会議で意見を出し合って、改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	・行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・外部研修や法人全体の研修、職員会議後に部署内での研修など積極的に行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・ホームページ上に公開している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・利用開始時などにアセスメントを行い、ニーズや課題の確認を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・児発管が中心となり、支援計画の検討を全スタッフで行って作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・月1回の会議で、新規及び6ヶ月以内の経過時に全スタッフに計画内容を伝達して支援している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・標準化されたアセスメントツールを用いて、評価し、日々の行動観察も含めて総合的に確保している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・ガイドラインを踏まえて、計画書の項目を設定し、個々に応じた支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・イベント会議を月1回開催して、チームで立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・毎月の活動内容を踏まえて、新しい活動を取り入れるなど固定化しないように工夫している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個人での課題と、集団との関わりでの課題、それぞれ取り入れたサービス計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・HUGを確認して、保護者からの連絡事項等を確認し、送迎時間や子どもの様子などを確認して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・その日の振り返りを行い、書面に残して休みのスタッフも把握できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・毎日、個別の支援記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・6ヶ月未満の間隔で、全利用児に対して行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		・4つの基本活動を組み合わせて行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・行事等への参加の有無や、その日の事由活動や内容を決める等は子ども自身で行うよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児発管、管理者だけでなく、その子どもの状況をよく理解した者が参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・会議に参加するなどして、連携を行っている。 ・必要に応じて保護者を通じて医師に指示書を出してもらい、支援にあたっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・管理者が主となって連絡調整をしている。 ・下校時には送迎担当者が情報共有を行い、報告を書面に残している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	6	・保護者からの情報共有はあったが、事業所等とは共有出来ていない。	・必要に応じて、情報共有できるようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	・相談員を通じてなどで、情報を提供するようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6	・現在は出来ていない。	・必要に応じて、今後機会を設けられるように検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	・長期休み時には学生ボランティアを受け入れて、活動する機会を作っている。	・放デイを利用していることを知られたくない保護者様もいるため、交流に関しては検討が必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	・参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・送迎時に伝えるようにしている。また、日々の記録も公開して保護者が確認できるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	・支援の情報提供は行っているが、ペアレントトレーニングや研修等は行っていない。	・個別に相談しながら、情報提供を行っていききたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時や書類をお渡しする際に説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・個別に意向を確認し、子どもや保護者の意思を尊重するように努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・個別支援計画をお渡しする際に、必ず説明をするようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・HUGや送迎時などで対応するようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		・年1回交流会を開催して、保護者様やきょうだいにも参加して頂く機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・管理者、児発管、リーダーを中心に対応する体制をとっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・毎月、リフライ通信を発行して活動内容等をお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・書棚に鍵をかけて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・個別に分かりやすく説明をしている。また、忘れないようにメモ書いて渡す等配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8	・感染対策等で実施できていないが、長期休み等でボランティアは受け入れている。	・感染対策等で招待は難しいが、地域の活動等は把握していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・マニュアルは策定して、発生を想定した訓練を行っている。 ・家族等に周知しているが、不十分な感じがする。	・定期的に月1回のリフライ通信内などで紹介するなどして、より周知していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・策定して、机上訓練など行っている。 ・毎月防災教室や、定期的な避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・保護者より服薬の説明書や指示書等を受け取り、確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	4	・アレルギー対応は気を付けてるが、医師の指示書はもらっていない。	・重篤なアレルギー症状などは、保護者を通じて検査結果等のコピーをいただくようにしたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・作成して、研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	・安全計画の取り組み内容について、家族等への周知が不十分なように思う。	・リフライ通信を活用して、周知していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・インシデント報告書を作成し、全職員で確認を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・年2回の研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・十分に話し合った上で決定し、保護者様に書面にて同意を得て、計画書にも記載している。	